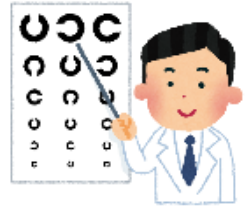


眼科検査のあれこれ

～眼科コラム～

聖隷沼津病院 眼科検査室

視力検査について

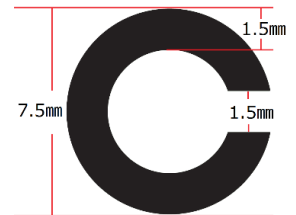


学校検診や健康診断・免許の更新などで誰しもが行ったことのある視力検査ですが、皆さんはどれだけ視力検査のことを知っていますか？

視力の決め方

視力の値は検査の際に見せられる、Cのようなマークを『ランドルト環』といいます。どのくらいの距離からランドルト環の切れ目の方向が見えたかによって決まります。

『ランドルト環』の大きさは日本ではJIS規格によって、5m離れた距離から検査を行った際に、視力 1.0 に相当するランドルト環は直径 7.5 mm 線の幅 1.5 mm 切れ目の幅 1.5 mm と定められています。



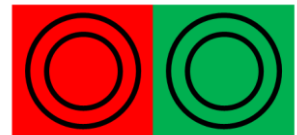
この大きさのランドルト環が 5m の距離で 5 個中 3 個以上正答出来れば、視力 1.0 となります。

簡単にまとめると、視力 1.0 とは 5m 離れた場所から 1.5 mmの切れ目が左右上下のどこにあるのかを判別する事ができるということです。

赤と緑の秘密

視力検査の際に赤と緑の丸を見せられた事はありませんか？

どっちか見やすい方はないかと聞かれて、何を確認しているのだろうと思った方も少なくないはずです。



あれは色の収差を利用しており、緑色は近い位置に赤色は遠い位置に結像する為、視力検査の際に、赤と緑のどちらの丸が見やすいかを確認する事によって、装用しているレンズが患者さんにとって強いレンズなのか、弱いレンズなのかを確認しています。

そのため、どちらかが正解というわけではなく、度数によって見え方も異なってきます。

